

市立図書館前広場に踊りの輪 納涼夏まつり計画決まる

7月31日～8月7日に集約

ことしも、恒例の「日光納涼夏まつり」が、市・観光協会・商工会議所の共催、青年会議所の協力で開かれます。五月二十八日の日光納涼夏まつり実行委員会で、計画の大意が次のように決まりました。

ことし特に変わったことは、夏まつりの期間を、昨年の半分の八日間に短縮したこと。また、日光和楽踊りを、新築した中央公民館前広場で行います。

夏まつり開幕パレード

(八月一日)

パレード車が、次の場所に停車します。

- 湯元温泉駐車場(九時五十分)
- ↓中宮祠バスターミナル(十時二十分)
- ↓清滝バスターミナル(十一時)
- ↓安良沢枋金前(正午)
- ↓総合会館前(十二時半)
- ↓市役所前(一時)
- ↓稲荷町グラウンド(一時半)
- ↓広久保住宅遊園地(二時)
- ↓小来川(二時五十分)

男体山登拝大祭

(七月三十一日)～(八月七日)

行人行列は七月三十一日午後四時、中禅寺温泉駅から男体山一合目まで、白衣をもといパレードし

ます。

一般登拝者は、八月一日午前零時、太鼓を合図にいつせいに登拝します。

花火大会

(七月三十一日)

中禅寺湖畔神社前で、午後六時から花火百発を打上げます。

とうろう流し

(七月三十一日)～(八月三日)

中禅寺湖畔神社前で、午後六時からとうろう約千個を流します。

みやま踊り

(七月三十一日)～(八月三日)

中宮祠独特の踊りが、午後八時から神社境内で、中宮祠青年団を中心に展開されます。

日光納涼和楽踊り

(八月一日)～(八月二日)

中央公民館前広場で、午後七時から十時まで行います。

一昨年のように、団体の踊り大会を行います。町内は二十人以上で一万円、事業所は十人以上で五千円を助成します。上位六チームには、ハッスル賞やアイデア賞などが用意してあります。ふるってご応募ください。参加希望チームは、七月二十日までに、観光課か観光協会、または、商工会議所に申し込んでください。

雨天の場合は、四日(木)まで順延して行います。

なお、期間中は、花火百五十発を打上げます。

市史編さん室だより

明治からのあゆみ

大正2年 ↓ 4年

⑮ 大正天皇・貞明皇后の精銅所行幸啓 (大正2年9月)

9月6日に大正天皇、翌7日に貞明皇后が、わが国では初めてという、民間工場へ行幸啓になった。

この光栄を永く記念するため、精銅所では、各種の事業、行事を行った。

◇便殿と天覧品陳列室を「両陛下行幸啓記念館」とし、毎年行う記念式典はこの前で行う。

◇「行幸啓記念奉祝歌」を制定し、記念日に歌う。

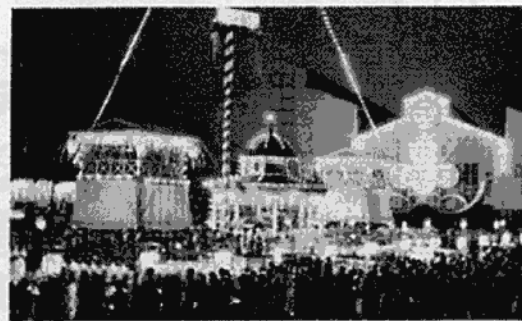
◇「和楽踊り」を毎年行う。行幸の終わった夜の祝賀小宴で、だれともなく踊り出したのが始まりで、現在は、8月に行われているが、9月初旬が二百十日の直後で、台風時期のためさけ、大正11年から、7月の創業記念日と、9月の行幸啓記念日の中間に当る8月6、7日を記念祝賀の日とし、現在もなお続けている。

⑯ 近松秋江登見 (大正2年)

山内禅智院に滞在し「疑惑」を発表した。作品の中に街の様子が描かれている。

⑰ 真光教会の教会堂落成 (大正3年8月6日)

明治32年頃、日光町滞在中の英米人が基督教の礼拝堂として、安川町(今の東武観光センター付近)に、木造の教会堂



和楽踊り